

氏名：大塚 一雄

隊次：昭和 63 年 3 次隊

派遣：H1 年 4 月～H3 年 4 月

職種：システムエンジニア

## 恐るべし途上国

～日本の何年も先を進んでいた PC 環境～

今から 20 数年前、👤👤👤その当時の日本におけるコンピューターと言えば今のような PC (パソコン) ではなく汎用機と呼ばれる大型のコンピューターでした。このコンピューターを使って、バリバリ(笑!)の SE として働いていた👤私が南太平洋にあるサモア(旧西サモア)という🌴小さな島国に派遣された訳ですが、そのサモアにあったのは日本で使用していたような大型コンピューターはなく、な!な!何と PC . . . 🖨️🖨️。ただ PC といっても 20 数年前のものは今のようにマウスがありません(□写真参照)。MS-DOS というコマンドを入力して動かすもので、本当に使い勝手の悪いものでした。👤また驚くことに勤務先では複数の PC がケーブルで LAN 接続(ローカルエリアネットワーク)され、👤さらにハードウェアやデータを共有するためクライアント・サーバーシステムが構築されていました。👤👤👤

因みに当時の日本では一般的に PC も LAN もほとんど普及していなかった時代です。また PC を持っていた人はごくわずかで、一部 PC98 マニア(人によっては懐かしい PC です。)と呼ばれる人たちくらいでした。

そのような中、途上国であるサモアにこの 2 つがあったのは今考えると驚きの一言に尽きます。私としては、日本では PC も LAN もまったく経験がなかったため、日本に国際電話(当時はインターネットなどはなく、連絡手段は👤👤電話でした。また回線が悪く、会話の半分が「もしもし」とお互い言い合っているような状況でした。(笑))をして急遽パソコン関係のマニュアル📖を送ってもらいました。👤👤👤

コンピューターの技術を教えに派遣されたものの逆に PC の経験のない👤👤私にとってはまさに途上国であるサモアで PC の勉強の機会を得たものでした。👤👤

当初、サモアを含めた途上国に対するイメージといえば、👤👤貧しい、汚い、技術力などが日本より劣っていると思っていました。👤だからこそ自分の持っている技術を使って現地の為にという思いが強かったものです。しかしながら、現実は前述のとおりです。まったくお恥ずかしい限りです👤👤。

ところで具体的な現地での活動ですが、勤務先は現地の郵政省の管轄下にある「Post Office Savings Bank」という日本でいえば郵便局📮に当たり、貯金と年金受取を主な業務とする銀行(乙女の花園?🌸🌸🌸 □写真参照)でした。ここで貯金業務に関するシステムの海外からの導入作業、その後のシステム管理・運営など。またそれ以外でも、同省の年金システム(途上国でも年金のシステムはあります。)や切手販売システム(郵政省なので南の島の絵柄のきれいな切手を海外向けに販売しています。)を構築しました。

そしてお決まりの苦労話ですが、まず PC は正しいデータを入力してこそ本来の性能を發揮しますが、📺間違っただータを入力すれば当然のことながら答えも間違っただものが出てくるということを理解させることです。ましてやお金を扱っている銀行なので一つでも間違えがあれば🐱大変な事態になります。このためデータ入力時及び日常業務終了後の内容確認を徹底しました。また途上国では良くあることですが、🌩いきなり停電が起ります。🌩その結果、PC の故障やデータが壊れることが良くあります。このため随分と駆けずり回って🔋🔋バッテリーを入手し停電対策をしました。それ以外にも聞くも涙、語るも涙のことが色々ありましたが、それは次回に取っておきます(笑)。今考えると自分の人生にとって本当に貴重な経験が出来たと思います。

そうこうしているうちにあっという間😊に任期の2年間に過ぎ、日本に帰国しましたが、驚くことに📺📺まだ日本では PC は一般的ではありませんでした。その後皆さんもご承知の通り日本では90年代中ごろから爆発的に🌩インターネットを中心にPCが普及していきませんが、その何年も前に1歩も2歩も途上国であるサモアは進んでいたというものでした。🇸🇲🇸🇲

まさかサモアでPCの勉強をするとは思っていませんでした。途上国恐るべし!! 📺📺



左側：サーバー 右下：停電用のバッテリー



マウスが無いコンピューター（今では信じられません！！）



職場のスタッフ達と（途上国ですがきちんと制服があります！）